

選 抜 方 法

入学者の選抜は、次のとおり行います。

○創作研究系（日本画、油画・版画、彫刻、デザイン、陶磁）

提出作品・作品ファイル、小論文及び口頭試問の評価に加え出願書類を総合して行う。

○理論研究系（芸術学）

提出論文、語学試験及び口頭試問の評価に加え出願書類を総合して行う。

試験日程および試験会場

志願者は、原則として、願書提出前に、研究分野の内容について、希望する研究指導教員と面談すること。

(1) 作品及び作品ファイルの提出（創作研究系のみ）

研究分野	提出日時	提出物・提出場所・提出方法・注意事項
日本画	令和3年 2月13日(土) (9:00~16:00) ※予め搬入時間を研究指導教員に連絡すること。	提出物：①日本画作品 50~150号作品で3~5点。 *2年以内に制作した作品に限る。 *ただし、模写・保存修復分野志望の場合は日本画作品 50~150号 1~3点及び模写作品2点。 ②作品ファイル *A4サイズとする。 *過去4年以内の作品及びドローイング等の写真を年次順に整理したもの。 提出場所：日本画アトリエ指定場所
油画 ・版画		提出物：①作品6点以内。 *206cm×100cmのドアから搬入可能な作品であること。 *4年以内に制作した作品であること。 映像作品の場合 ・10分以内に編集した作品であること。 ・作品に関する資料を添付することができる。 ・機材等は各自で準備し、上映できる状態に設置すること。 版画作品の場合 ・額装、パネル張り等をするなどして壁に立てかけられる形状にすること。 *その他の形状の作品については希望する研究指導教員に事前相談すること。 ②作品ファイル *過去4年以内の作品及びドローイング等の写真を年次順に整理したもの。 提出場所：油画アトリエ指定場所
彫刻		提出物：①作品3点以内（インスタレーション作品を含む） *自身が制作した作品であること。 *自身の責任において、安全に提出設置できること。 ・必要であれば設置場所・条件等を実際に確認すること。 *映像を用いた作品は、再生時間を原則10分以内とすること。 ・再生・投影に必要な機材等は各自で準備し、視聴できる状態に設置すること。 ②作品ファイル *これまで自身が行ってきた研究・制作の成果等を示す資料（論文・報告書・作品写真・ドローイング等）を年次順に整理しA4サイズファイルにまとめたもの。 提出場所：彫刻アトリエ指定場所

研究分野	提出日時	提出物・提出場所・提出方法・注意事項
デザイン	令和3年 2月13日(土) (9:00~16:00) ※予め搬入時間を研究指導教員に連絡すること。	提出物：①作品 *5年以内の作品及び修士作品等、3点以上（1シリーズは1点と換算） *作品に代えて論文を提出する者は、内容をパネルやプレゼンテーション資料として閲覧可能な形態として提出すること。またその他の参考作品や論文等を、同様の形態で提出することができる。 ②作品及び研究に関するファイル *過去に実施した研究成果、作品、ドローイング等を年次順に整理しA4サイズファイルにまとめたもの。 提出場所：デザイン棟指定場所
陶磁		提出物：①陶磁器作品3~4点（シリーズは1点と換算） *制作年度は問わない。（制作年度を提出作品貼付用紙に書くこと） *本人の作品であること。 ②作品ファイル *サイズはA4以上とする。 *作品及びドローイング等の写真を年次順に整理したもの。 提出場所：陶磁棟2階指定場所

*提出作品には綴じ込みの提出作品貼付用紙を貼ってください。

*安全管理及び保健衛生上、支障のある作品は受理しません。

*作品の搬出は、令和3年2月14日（日）の口頭試問終了後とします。

*作品及び作品ファイルの搬入及び搬出は、上記に指定した日時に、必ず本人が行ってください。

（ただし、運送業者を利用する等、特別な措置を必要とする場合は、必ず事前に希望する研究指導教員に相談してください。）

(2) 小論文（創作研究系）または 語学試験（理論研究系）試験問題

○ 日本画研究分野

試験の種類別	小論文
時間	90分
試験問題	出願している研究分野の設問を選択し、1200字程度で論述しなさい。 「日本画について1点以上の美術史上の作品をあげて自身の考えを論述しなさい。」 配付物：問題用紙、指定原稿用紙1枚、草案用紙1枚

○ 油画・版画研究分野

試験の種類別	小論文
時間	90分
試験問題	出願している研究分野の設問を選択し、1200字程度で論述しなさい。 「現代における絵画の可能性について論じなさい。」 配付物：問題用紙、指定原稿用紙1枚、草案用紙1枚

○ デザイン研究分野

試験の種類別	小論文
時間	90分
試験問題	出願している研究分野の設問を選択し、1200字程度で論述しなさい。 「あなたの専門分野において、研究を理論的、または実践的に進めることの価値について考え、自らの研究ポリシーを述べなさい。」 配付物：問題用紙、指定原稿用紙1枚、草案用紙1枚

○ 陶磁研究分野

試験の種類別	小論文
時間	90分
試験問題	出願している研究分野の設問を選択し、1200字程度で論述しなさい。 「グローバルな視野に立ち、あなたの母国の社会・生活における陶磁芸術の可能性について、自らの考えを述べなさい。」 配付物：問題用紙、指定原稿用紙1枚、草案用紙1枚

※彫刻研究分野と芸術学研究分野は志願者なしのため、掲載なし

評価基準及び点数配分

ア 創作研究系（日本画、油画・版画、彫刻、デザイン、陶磁）

試験科目	評価基準	点数
作品等の審査	テーマ性、構想力、独創性、表現力等をみる。	600
小論文	論理的構成力、文章表現力等をみる。	200
口頭試問	研究計画書の内容、研究意欲と適性をみる。	200
合計		1,000

イ 理論研究系（芸術学）

試験科目	評価基準	点数
論文の審査	主題の適性、専門的研究水準、論文構成力をみる。	600
語学試験	専門的読解力、翻訳能力をみる。	200
口頭試問	研究計画書の内容、研究意欲と適性をみる。	200
合計		1,000